

戦後80年・海洋博50年特別企画

OKINAWA

あの日の
大博覧会
2025

懐かしの映像と写真で遊ぶ

帰ってきた!

おかえりなさい!

2025.8/6 wed. >> 8/31 sun.

入場
無料

11時～19時(休館日を除く) 休館日: 8/18(月)

那覇文化芸術劇場なはーと/1階 小スタジオ

主催: 那覇市
企画制作: 那覇文化芸術劇場なはーと
沖縄アーカイブ研究所

EXPO 2025

A vintage, slightly faded color photograph of a busy beach scene. In the foreground, several large beach umbrellas in shades of orange, yellow, and blue are open. People are scattered across the sandy beach, some standing and others sitting. In the background, the ocean stretches to the horizon, and a prominent, dark mountain peak is visible on the left side of the frame. The overall atmosphere is nostalgic and captures a moment of leisure from a past era.

「あの日」の風景からよみがえる、懐かしの映像と写真で遊ぶ大博覧会

沖縄の人びとの手で撮影された8ミリ映画が映し出す「あの日」の思い出。
フィルムに残された土地と家族の記憶は、私たちの「あの日」と共鳴していきます。

今年は戦後80年、そして50年前には「海、その望ましい未来」を掲げた沖縄国際海洋博覧会が開催され、復帰後の沖縄の変節点となりました。また、大阪・関西万博が開催され、沖縄に新しいテーマパークができる年でもあります。

「未来」や「新しさ」があふれる今こそ、まずは懐かしの映像と写真で遊んでみませんか。

思い出をふりかえり、「過去、その望ましい未来」をイメージしてみませんか。

思い出をふりかえり、「過去、その望ましい未来」をイメージしていませんか。

「あの日」を、そして過去、現在、未来へ流れる時間を感じる「大博覧会」を開催します。

A color photograph showing a group of people walking on a boardwalk. In the foreground, a woman in a purple dress and a man in a white shirt are walking towards the camera. In the background, there is a large, ornate building with a clock tower, and a body of water is visible in the distance.

1973年に誕生し、那覇のランドマークでありながら、2014年に解体された那覇タワー。会場の中心に3メートル近いミニチュアで復活。みんなで記念撮影しよう！

絵を描いた紙を筒のなかに入れてクルクル回すと絵が動き出す不思議な道具！あなただけのアニメをつくっちゃおう。
(持ち帰っておうちでも楽しめます！)



会場構成・演出：真喜屋力 アートディレクション：宜壽次美智

[illegible]

バス ————— モノレール —————

①若松入口	徒歩約6分	④松尾一丁目	徒歩約6分	⑥県庁前駅	徒歩約6分
②久茂地公民館前	徒歩約2分	⑤松尾	徒歩約6分	⑦美栄橋駅	徒歩約6分
③沖鶴本店前	徒歩約6分				

※一般駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

EXPO 2025